

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（26年4月～6月実績、7月～9月見通し）

	7月	8月	9月
※航空会社ヒアリングならびに沖縄県内発着便の提供座席数より推測			
国内空路			
海外空路			
※クルーズ客船の寄港予定より推測			
国内海路			
海外海路			

〈OCVB観光天気予報〉

	対前年 105%以上水準
	対前年 100%以上-105%未満
	対前年 95%以上-100%未満
	対前年 90%以上-95%未満
	対前年 90%未満水準

			4月(実績)	5月(実績)	6月(実績)	4-6月 計	7月(予測)	8月(予測)	9月(予測)	7-9月 計	上期計
2026年度	空路	国内	639,200	607,800	576,600	1,823,600	715,000	791,000	718,000	2,224,000	4,047,600
		海外	192,600	190,300	176,700	559,600	190,000	207,000	197,000	594,000	1,153,600
		合計	831,800	798,100	753,300	2,383,200	905,000	998,000	915,000	2,818,000	5,201,200
	海路	国内	6,100	4,800	4,000	14,900	5,010	3,640	4,070	12,720	27,620
		海外	67,300	29,600	48,400	145,300	59,250	58,800	55,750	173,800	319,100
		合計	73,400	34,400	52,400	160,200	64,260	62,440	59,820	186,520	346,720
	空路海路合計		905,200	832,500	805,700	2,543,400	969,260	1,060,440	974,820	3,004,520	5,547,920
	国内合計		645,300	612,600	580,600	1,838,500	720,010	794,640	722,070	2,236,720	4,075,220
	海外合計		259,900	219,900	225,100	704,900	249,250	265,800	252,750	767,800	1,472,700

前年度比	空路	国内	103.4%	103.3%	96.8%	102.8%	101.9%	101.4%	105.4%	102.8%	101.8%
		海外	114.4%	114.2%	104.1%	107.5%	107.0%	102.5%	113.7%	107.5%	116.7%
		合計	105.8%	105.7%	98.4%	103.7%	102.9%	101.6%	107.1%	103.7%	104.8%
	海路	国内	203.3%	37.8%	102.6%	132.5%	217.8%	117.4%	96.9%	132.5%	135.4%
		海外	72.1%	39.5%	69.7%	71.0%	90.0%	65.8%	62.2%	71.0%	84.1%
		合計	76.1%	39.3%	71.5%	73.3%	94.4%	67.5%	63.7%	73.3%	86.7%
	空路海路合計		102.6%	98.8%	96.0%	101.1%	102.3%	98.7%	102.8%	101.1%	103.4%
	国内合計		104%	102%	97%	102.9%	102%	101%	105%	103%	102%
	海外合計		99%	91%	94%	96.3%	102%	91%	96%	96%	108%

■概況

国内入域：

- 空路は、7月に夏休み需要が本格化するほか、県内各地で実施されるJリーグチームのサッカーキャンプも、県外からの来訪者が増える要因となる。また、伊丹・関西・中部・成田発の那覇路線における一部増便や、羽田と県内離島を結ぶ路線の好調な動きもあり、台風による欠航の影響はあるものの、全体では前年を上回る見込みである。
- 8月は、夏休みやお盆を中心に沖縄方面への高い需要が見込まれ、予約も堅調に推移している。
- 9月は、シルバーウィークの日並びが前年より良く、学生旅行などを中心に旅行需要の高まりが見込まれるほか、早期予約も順調に推移していることから、8月・9月ともに前年を上回る見込みである。

海外入域：

- 空路は、7月については、引き続き台湾・韓国方面を中心に堅調な需要が見込まれることから、台風による一部欠航の影響はあるものの、前年度を上回る見通しである。8月・9月は、夏季の旅行需要に加え、香港＝那覇線の新規就航や台中＝那覇線の運航再開、高雄＝石垣線の新規就航などに伴い、台湾・香港方面からの観光客の増加が見込まれることから、いずれも前年度を上回る見通しである。
- 海路は、7月・8月については、中国本土発の寄港が少ないことや、一部便のキャンセルにより、いずれも前年を下回る見込みである。9月も、前年に複数回あった廈門発の寄港が見込まれないことや、中国本土発の一部便のキャンセルにより寄港回数が減少することから、前年を下回る見込みである。

① 入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（26年4月～6月実績、7月～9月見通し）

7月

空路

（国内）71.5万人（25年7月対比 101.9%）と見込む。

（海外）19.0万人（25年7月対比 107.0%）となる見通し。

香港＝那覇路線

（新）グレーターベイ航空：7月11日～ 新規就航（デイリー）

台中＝那覇路線

チャイナエアライン：7月21日～10月24日 運航再開（デイリー）

海路

（国内）5,010人（25年7月対比 217.8%）となる見通し。

（海外）5.9万人（25年7月対比 90.0%）となる見通し。

寄港本数：24本（25年7月：17本）

国内クルーズ：0本

海外クルーズ：17本（台湾/基隆、高雄・香港）石垣港のみ寄港は3本。

国際定期貨客船：「やい丸」：7本（台湾/基隆）

8月

空路

（国内）79.1万人（25年8月対比 101.4%）と見込む。

（海外）20.7万人（25年8月対比 102.5%）となる見通し。

ドンムアンー台北ー那覇路線

（新）タイ・ライオン・エア：8月16日～ 新規就航（週4便予定）

海路

（国内）3,640人（25年8月対比 117.4%）となる見通し。

（海外）5.9万人（25年8月対比 65.8%）となる見通し。

寄港本数：26本（25年8月：24本）

国内クルーズ：0本

海外クルーズ：18本（台湾/基隆・香港・中国/上海）石垣港・平良港のみ寄港は4本。

国際定期貨客船：「やい丸」：8本（台湾/基隆）

9月

空路

（国内）71.8万人（25年9月対比 105.4%）と見込む。

（海外）19.7万人（25年9月対比 113.7%）となる見通し。

高雄＝石垣路線

（新）タイガーエア：9月2日～10月21日 新規就航（週2便予定）

海路

（国内）4,070人（25年9月対比 96.9%）となる見通し。

（海外）5.6万人（25年9月対比 62.2%）となる見通し。

寄港本数：28本（25年9月：34本）

国内クルーズ：1本（横浜発）

海外クルーズ：18本（台湾/基隆・香港・中国/上海、深圳）石垣港・平良港のみ寄港は9本。

国際定期貨客船：「やい丸」：9本（台湾/基隆）

（空路）国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの
海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

（海路）国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの
海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

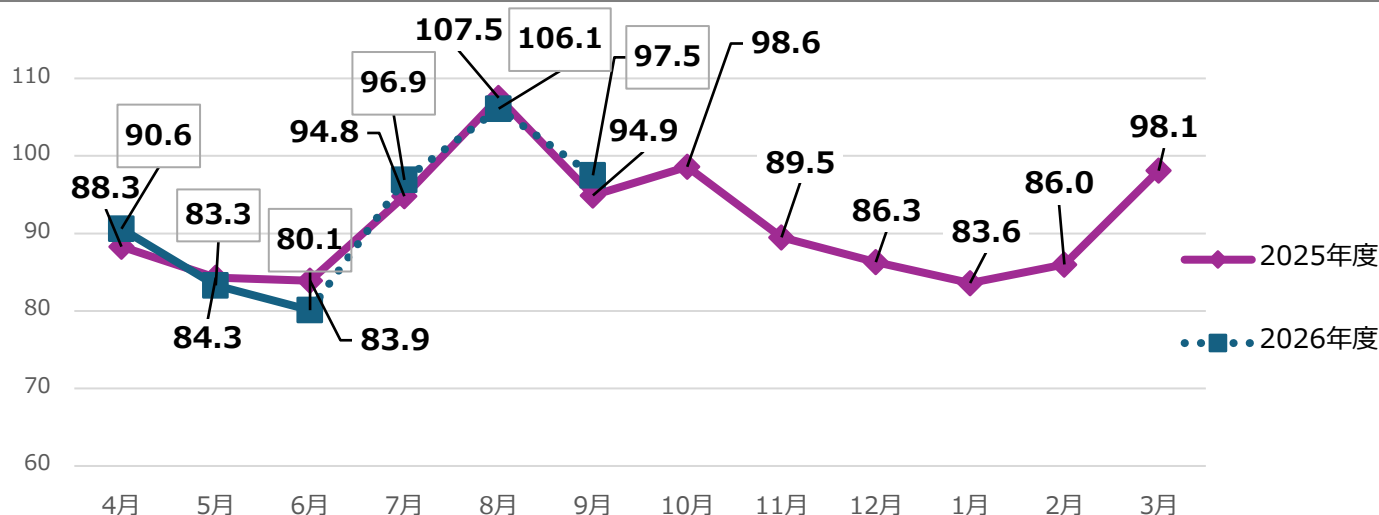
※国内クルーズ⇒発着地が国内 海外クルーズ⇒発着地が海外

①入域観光客数概況について

2. 入域観光客数概況グラフ

入域観光客（合計）

単位：万人



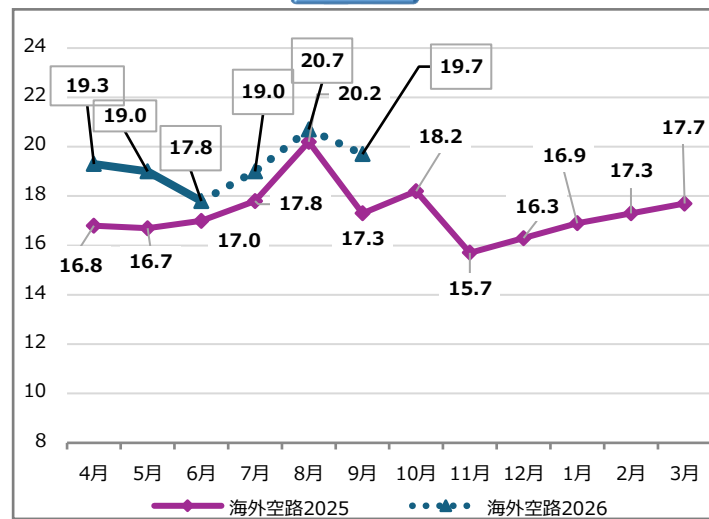
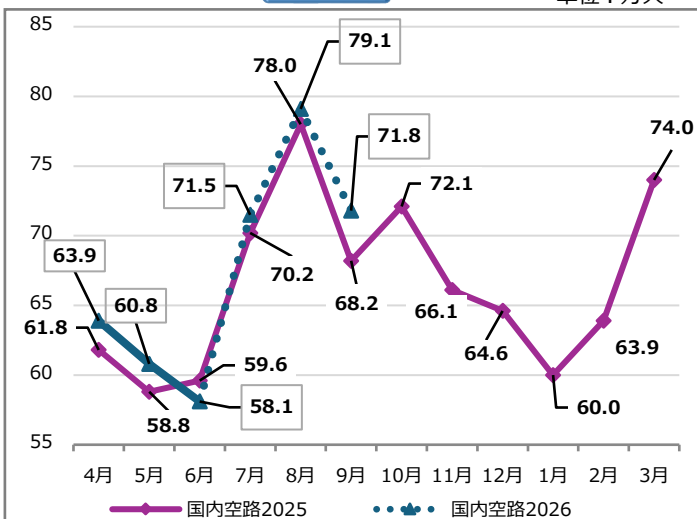
入域観光客（空路）

国内

単位：万人

海外

単位：万人



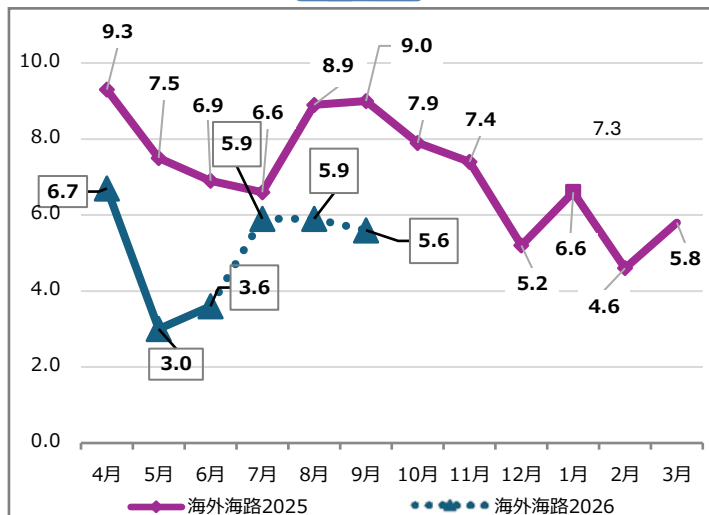
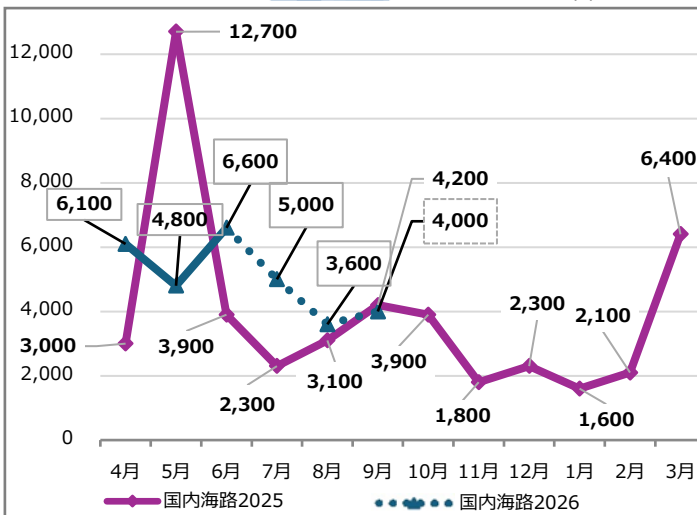
入域観光客（海路）

国内

単位：人

海外

単位：万人



ツーリズムEXPOジャパン2026 への出展について

世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン」で沖縄の伝統・文化の魅力をPR

ツーリズムEXPOジャパンは、世界中の観光関係者が集う、日本最大級の総合観光イベントです。「旅の未来を創造する」総合イベントとして開催されており、第12回となる今回は「進化する旅のカタチ」をテーマに、観光業界をはじめ多様な業界の関係者が「観光・ツーリズム」を軸に集結し、海外・国内・訪日旅行の振興や地域活性化を図るとともに、参画事業者間の情報共有・交流の場として開催されます。

2年ぶりに東京ビッグサイトで開催される本催事では、今年の11月23日に一般公開が確定した、首里城正殿の復元という沖縄を象徴する大きな節目を迎えることから、沖縄の歴史・文化への関心が高まることが期待されます。この機会を捉え、昨年度よりもブーススペースを広くし、沖縄が持つ伝統芸能や工芸、食文化など一体的に発信することで、沖縄ならではの歴史・文化を通じた観光の高付加価値化を体感できる新たな旅行需要の創出を図ります。

また、県内の市町村、観光協会、観光関連団体等23団体と連携し、「沖縄ブースエリア」として一体感のある装飾やプロモーションを展開します。沖縄各地の地域の魅力を一体的に発信することで、秋から冬にかけての旅行需要を喚起し、観光需要が落ち込みやすい冬季の誘客促進や旅行需要の平準化を図るとともに、沖縄旅行未経験者市場の開拓と新たなリピーターの創出につなげます。

名 称：ツーリズムEXPOジャパン2026

開催日時：2026年9月24日（木）～27日（日）

（業界・プレス日：9月24日（木）・25日（金）

一般日：9月26日（土）・27日（日））

開催場所：東京ビッグサイト

来場者数：18万人(主催者目標数)

公式WEBサイト：<https://www.t-expo.jp/>

テーマ：【沖縄の伝統・文化】

ステージプログラム：エイサーや空手の演武

沖縄観光大使によるPR

沖縄エリアブースPRステージ

重ね捺しスタンプラリー：周辺の沖縄関連ブースを巡り、スタンプを集めることで琉球びんがたの絵柄が完成



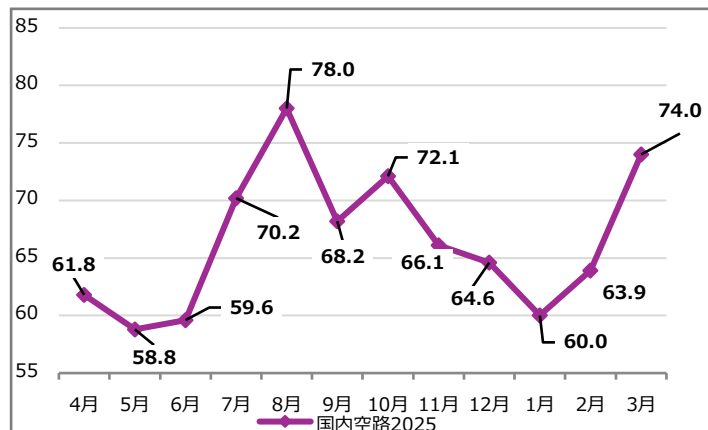
ツーリズムEXPOジャパン2025の様子
沖縄ブース来場者 10,017人（一般日）

参考

昨年度沖縄への入域観光客数は1,093万人超えを記録、うち国内入域観光客数や約799万人となり、全体の73%を占め、過去最高の人数となりました。

入域月の内訳(空路)をみると、ピークは8月のおよそ78万人、その一方で、5月、6月、1月は約59万人と、ピーク期との差が約20万人となっています。

依然として「夏」「海」のイメージが強いことや、夏休みという旅行ニーズの高い時期も相まった結果となっていますが、観光産業における年間を通じた収益の安定化や雇用の安定・労働生産性の向上を図るためにも、年間を通じた入域客数の平準化が必要とされています。



【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部国内プロモーション課 担当：赤嶺、森田、米盛

TEL：098-859-6125 Mail：kokunai_rosen@ocvb.or.jp

加速する香港市場（報告）グレートベイ航空就航 & 香港ブックフェア

香港からの直行便就航 グレートベイ航空

2026年7月11日、香港-沖縄の直行便としてグレートベイ航空（大湾区航空）が就航しました（これまで香港航空・香港エクスプレスの2社が運航、今回3社目）。

昨年度の香港からの入域観光客数は227,100人（対前年+45,900人）となっています。また、香港は1人あたりGDP（54,101米ドル/外務省サイト）と世界トップクラスの高所得市場です。沖縄県が実施した令和6年度外国人観光客実態調査報告書によると、国籍・地域別でみると、香港市場は他の市場と比較して、リピーター率（46.7%/全体平均30.5%）および一人あたり観光消費額（139,943円/全体平均111,031円）が最も高く、平均宿泊日数（4.86泊/全体平均4.11泊）も長い傾向にあります。

グレートベイ航空は、広東省・香港・マカオからなる「グレートベイエリア」を開発するという中国の国家戦略のもとで設立され、現在は香港を拠点に、日本、中国、台湾、フィリピン、インドネシアなど7か国へ路線を展開しています。今回就航した香港-那覇路線は、日本では6番目の就航となり、2026年7月11日から10月24日まで、毎日1往復運航します。

グレートベイエアラインズ日本地区代表の鈴木正和氏は、「沖縄は、香港および香港以遠の方々にとって人気の高い旅行先のため、沖縄への就航を決定した。今後も、香港・沖縄双方の需要が継続・拡大するよう、官民で連携して取り組んでいくことを期待している」「7月11日の初便運航以降、搭乗率は好調に推移している」とのコメントをいただいています。

沖縄県およびOCVBでは、香港市場を訪沖率が特に高い成熟市場と位置付けています。観光消費額の拡大や北部・離島への誘客促進を図り『何度も楽しむことができる旅行先』として、沖縄のブランド価値向上を目指します。

香港市場における沖縄観光の認知・ニーズを確認 香港ブックフェア2026

沖縄観光グローバル事業の一環として、2026年7月15日から21日まで、アジア最大級の規模を誇るイベント「香港ブックフェア 2026」へ出展し、沖縄観光の魅力を広く発信しました。

ブースでは、石垣市、竹富町、宮古島市の観光事業者・団体と連携してPRを実施するとともに、来場者へSNS登録を呼びかけるなど、沖縄の新たな魅力や最新情報の継続的な発信に繋がりました。また、アンケートでは817件の回答を得ることができました。来場者からは、「景色が綺麗」「リラックスできる旅行先」「太陽と海」などの声が多く寄せられ、香港市場において沖縄のイメージが広く浸透していることを改めて確認することができました。また、離島の星空や文化などに関する質問も多く、離島の体験型コンテンツへの関心も高いことがうかがえました。一方で、「観光情報をもっと充実させてほしい」「バスの便数を増やしてほしい」「多言語対応のスタッフを配置してほしい」といった情報発信や受入環境も充実を求める意見も寄せられました。

今回得られた意見を今後のプロモーションや受入環境の充実に活かし、香港市場からの更なる誘客促進に取り組んでまいります。

名称：香港ブックフェア2026
主催：香港貿易発展局（Hong Kong Trade Development Council）
開催日程：2026年7月15日（水）～21日（火）
開催場所：香港コンベンション & エキジビジョンセンター
昨年度実績：出展者数770以上、来場者数89万人（※イベント合計値）
公式WEBサイト：<https://www.hktdc.com/event/hkbookfair/en>



（参考） 2026年度上期新規就航・運航再開路線情報（2月～7月）※1月なし

2026年上半期 新規就航・運航再開 8便 (台湾6(台北3/台中3)・韓国1・香港1)

日付	発	着	航空会社	運航	備考
2月3日	台北	那覇	 JTA	新規就航	デイリー
2月4日	台北	石垣	 タイガーエア	運航再開	週2便 ※2025年10月から運休
2月12日	台北	下地島	 スターラックス	運航再開	週2便 ※2025年10月から運休
2月13日	台中	下地島	 スターラックス	新規就航	週2便
3月30日	台中	那覇	 タイガーエア	新規就航	週2便
4月2日	釜山	下地島	 ジンエアー	新規就航	週2便
7月11日	香港	那覇	 グレターベイ	新規就航	デイリー
7月21日	台中	那覇	 チャイナエアライン	運航再開	デイリー ※2020年4月から運休

（参考） その他直近の海外プロモーション予定（8月～9月）

市場（国）	実施日（予定）	プロモーション名	概要
ASEAN（シンガポール）	8月21日～ 8月23日	NATAS Holidays	BtoC向け旅行博出展／リアルプロモーション
ASEAN（タイ）	8月27日～ 9月1日	現地ダイビング 事業者招聘	海外でのダイビングパッケージ販売事業者5社 招聘／ネットワーキングイベント・海の安全講話 等を実施予定
欧米豪 （オーストラリア メルボルン、ブリスベン）	8月17日～ 8月18日	JAPANロードショー	JNTO主催BtoB向け商談会
欧米豪（東京開催）	9月24日～ 9月26日	VISIT JAPAN トラベル & MICEマート	JNTO主催BtoB向け商談会
クルーズ（東京開催）	9月24日～ 9月27日	ツーリズムEXPO ジャパン2026	BtoB・C向け国内最大級の旅行博。各船社・ 旅行会社との商談、来場者へクルーズ旅を訴 求／リアルプロモーション

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE事業部 海外プロモーション課 担当：仲宗根・照屋

TEL：098-859-6127 Mail：jyuten@ocvb.or.jp

8月1日は「観光の日」～観光月間の取組を行います

今年度も「観光月間」の取組を実施いたします

沖縄県観光振興条例では、県民一人ひとりが観光について考える日として、8月1日を「観光の日」に定めています。OCVBは、観光を「自分ごと」として捉え、行動するきっかけづくりを目的とし、県民に観光を「知る・感じる」機会の創出を図るために本取組を実施いたします。

■実施内容

- ①沖縄県立図書館「沖縄の観光」パネル展
期間：令和8年7月29日(水)～8月17日(月)
会場：沖縄県立図書館（那覇市）

- ②那覇空港での空港歓迎式
日時：令和8年8月1日(土) 10：00～12：00頃
会場：那覇空港国内線・国際線（那覇市）
備考：沖縄県観光協会等協議会との共催

- ③「夏休みこども自由研究 in 沖縄コンベンションセンター 2026」への出展
日時：令和8年8月8日(土)～9日(日) 10：00～18：00
会場：沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）

※今年は「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録されてから7月26日で5周年の節目を迎えます。これを機に、県内の子どもたちにも、沖縄・奄美地域の豊かな自然と生物多様性について広く知っていただくため、環境省沖縄奄美自然環境事務所、世界自然遺産推進共同企業体の皆さまと連携し、体験型ワークショップやパネル展示等を通じて、楽しくわかりやすくご紹介いたします。

※追加情報は随時OCVBコーポレートサイトに掲載予定です



【参考】昨年度のパネル展示



【参考】昨年度の様子
左：空港歓迎式
下：夏休みこども自由研究
in 沖縄コンベンションセンター



【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
国内事業部 受入推進課 担当：中山、具志堅
TEL：098-859-6129 Mail：ukeire2@ocvb.or.jp

沖縄修学旅行セミナー・相談会を東京・埼玉・大阪で開催

沖縄修学旅行 セミナー・相談会を開催します

OCVBでは、沖縄県からの委託を受け、県外の学校関係者を対象に「沖縄修学旅行セミナー・相談会」を開催します。今年度は、「平和学習」と「探究学習」をテーマとしたミニ講話を実施するほか、沖縄修学旅行の最新情報や支援制度をご紹介。相談会では、自治体や体験事業者が個別相談に応じ、学校ごとの学びに合わせた修学旅行づくりをサポートします。

【開催概要】

■沖縄修学旅行セミナー in さいたま

日 時：8月19日（水）14:00～18:00

会 場：TOIRO SPACE 3～5（さいたま市）

主なプログラム：14:00～主催者挨拶、沖縄修学旅行プレゼンテーション、沖縄修学旅行体験談、探究学習ミニ講話

15:00～個別相談会

詳細リンク：<https://education.okinawastory.jp/support-and-event/126264/>

■沖縄修学旅行相談会 in 東京

日 時：8月20日（木）午前の部10:00～13:00 午後の部15:00～18:00

会 場：UDXギャラリー（秋葉原）

主なプログラム：（午前の部）10:00～主催者挨拶、来賓挨拶、沖縄修学旅行プレゼンテーション、沖縄修学旅行体験談、航空会社プレゼンテーション、平和学習ミニ講話

11:00～個別相談会

（午後の部）15:00～主催者挨拶、来賓挨拶、沖縄修学旅行プレゼンテーション、沖縄修学旅行体験談、航空会社プレゼンテーション、探究学習ミニ講話

16:00～個別相談会

詳細リンク：<https://education.okinawastory.jp/support-and-event/126235/>

■沖縄修学旅行相談会 in 大阪

日 時：12月17日（木）午前の部 10:00～13:00 午後の部 15:00～18:00

会 場：コングレコンベンションセンター ルーム2・3（大阪市）

主なプログラム：調整中

詳細リンク：<https://education.okinawastory.jp/support-and-event/137380/>

【昨年度の様子】



【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課 担当：多和田、比屋根、城間

TEL：098-859-6129 Mail：shuryo@ocvb.or.jp

沖縄MICEセミナー＆商談会 開催

沖縄MICEセミナー＆商談会in東京、愛知（名古屋）

沖縄県、OCVBでは、東京及び愛知（名古屋）にてMICE営業・企画を行う旅行社およびPCO等を対象に沖縄MICEセミナー＆商談会を開催します。各地区からのMICE案件獲得、市場動向の収集を通じ、沖縄県内へのMICEの誘致・拡大を図ります。

現地における取材方について、協力をお願いいたします。

名 称：沖縄MICEセミナー＆商談会

■令和8年度「沖縄MICEセミナー＆商談会 in 愛知」

開催日時：令和8年9月8日（火） 13:00～17:00

開催会場：TKPガーデンシティPREMIUM名古屋太閤 ホール10A

出展セラー：25社程度

■令和8年度「沖縄MICEセミナー＆商談会 in 東京」

開催日時：令和8年9月10日（木） 13:00～18:00

開催会場：ベルサール秋葉原 2Fホール

出展セラー：45社程度

■沖縄MICEセミナー

沖縄MICEの魅力や最新コンテンツ、OCVBによる各種支援メニューの紹介をはじめ、出展事業者によるMICE関連コンテンツや開催事例等のプレゼンテーションを実施します。

■事前マッチング商談会

事前マッチング形式による商談会（1商談15分＋休憩5分、6～8枠を予定）。ホテルやMICE関連施設、MICEコンテンツ、各種サービスなどを提供する沖縄県内事業者との商談の機会をご用意します。

■フリー商談会

名刺交換をはじめ、出展事業者との自由な交流が可能です。また、抽選会も予定しており、沖縄県内事業者提供の景品をご用意しています。

公式WEBサイト：沖縄MICEナビ <https://mice.okinawastory.jp/information/post-50439/>
トピックスにて随時情報更新



※昨年度開催時の画像

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE事業部 MICE推進課 担当：比嘉、奥平

TEL：098-859-6130

Mail：mice@ocvb.or.jp

（開催報告） 沖縄MICEネットワーク総会

（開催報告） 沖縄MICEネットワーク総会

OCVBが共同事務局を務める沖縄MICEネットワーク（以下OMN）は、令和8年7月23日に令和8年度総会を開催しました。

第1部の総会にはOMN会員53団体83名が参加し、令和8年度第1回幹事会で審議された事項の結果報告が行われたほか、OMN設立当初から令和7年度まで長年にわたり幹事として貢献いただき、令和8年3月に沖縄科学技術大学院大学（OIST）を退官した森田洋平氏へ、喜納共同代表から感謝状が贈呈されました。

第2部の勉強会では、日本政府観光局（JNTO）MICEプロモーション部長の巽麻里子氏から「戦略的国際MICE誘致とは/JNTOの取組と沖縄の可能性」と題した講話が行われ、国としてのMICE誘致状況やMICE開催地としての沖縄のポテンシャル等について、丁寧な説明が行われました。聴講した会員のアンケート結果は「たいへん満足」「満足」が100%を占め、「ブルーゾーンについてや、地域によってニーズが違うなど、今後の仕事につながる新しい情報が学べた」等の感想がありました。

第3部の交流会では、新規入会事業者や部会活動の紹介が行われ、活発な交流が行われました。

名 称：令和8年度沖縄MICEネットワーク総会・勉強会・交流会

開催日時：令和8年7月23日（木） 14:00～17:00

開催会場：ノボテル沖縄那覇

参加者数：会員53団体 83名

■第1部 総会（14：00～14：50）

- ・令和8年度第1回幹事会審議事項結果 報告者 金城 康司（OMN幹事長、OCVB専務理事）
↳令和7年度事業報告・収支決算/令和8年度事業計画・収支予算/新規幹事の就任について
- ・感謝状贈呈 森田 洋平 氏 ※略歴については別紙参照
（元OMN幹事 元沖縄科学技術大学院大学（OIST）学術連携シニアマネージャー）

■第2部 勉強会（14：55～15：55）

「戦略的国際MICE誘致とは/JNTOの取組と沖縄の可能性」

講師：巽 麻里子氏 ※略歴については別紙参照

（日本政府観光局（JNTO）MICEプロモーション部 部長）

■第3部 交流会（16：00～17：00）

- ・新規入会事業者紹介/部会（MICE産業部会、サステナビリティ部会）活動紹介/・名刺交換会



【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE事業部 MICE推進課 担当：古波蔵、久場、又吉

TEL：098-851-3765 Mail：info@okinawamicenetwork.jp